

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋2-24-1
施設名	まかな保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

繋がりのある保育～絵本の世界～

〈テーマの設定理由〉

乳幼児期に大切な絵本時間。たくさん絵本がある中で子ども達が夏頃から大切に育てていたあおむし。「はらぺこあおむし」の絵本や図鑑に着目し、子ども達が絵本や図鑑を通してどのような遊びに発展するか、興味関心をもつのかを探求しようと思い、上記のテーマに設定した。

2 活動スケジュール

- ① 8月12日 あおむしを育てよう
- ② 9月18日 あおむしのお家を作ろう
- ③ 10月8日 アゲハ蝶を作ってみよう
- ④ 11月28日 あおむしになりきろう
- ⑤ 12月12日 「はらぺこあおむし」を発表しよう

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

○図鑑 ○大型絵本「はらぺこあおむし」 ○虫カゴ ○絵の具 ○画用紙 ○タンポ、筆
○プロジェクター ○スモック ○段ボール ○縄 ○ボール

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ①あおむしの生態を観察し、図鑑で調べたりして成長を見守った
- ②折り紙やブロックを用いて、あおむしやあおむしの家を作った
- ③子ども達がアゲハ蝶に興味をもち、アゲハ蝶の制作を行った
- ④あおむしの衣装を作り、なりきり遊びを楽しむ
- ⑤衣装を着て保護者の前で「はらぺこあおむし」の発表を行った

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ①あおむしを見ること自体が初めての子がいて、少し怖くて後ずさりする子やまじまじと見入る子、話掛ける子等、様子は様々であおむしに興味津々の様子が見られた。また霧吹きを掛けたり、葉っぱをあげたり積極的にお世話をする子が多かった。図鑑を通して大きさ、色、形等を観察し、成長を見守っていた。
- ②あおむしを見ていると「お家を作ってあげよう！」「ご飯を作ってあげよう！」と子ども達同士で遊びが発展し、楽しんでた。本物のあおむしの様子をしっかりと観察して、折り紙であおむしを作り、ブロックであおむしの家を作っていた。
- ③大型絵本を読むことで、マグブロックでアゲハ蝶を作ったり、画用紙に大きなアゲハ蝶の模様を描いてみたりと、子ども達が意欲的に活動に参加していた。大型絵本のアゲハ蝶の模様や色を確認しながら進めていく子や、自由に好きな色を塗り楽しむ様子も見られた。
- ④あおむしになりきって体を動かすことを楽しんだ。視覚的にもより一層なりきる為に「あおむしの洋服作ってみる？」と問いかけると「きてみたい！」と意欲的な様子だった。帽子にあおむしの顔を描いたり、体の部分にシールを貼ったりして自分だけのあおむしの衣装を作ることができ、嬉しそうに着る姿が見られた。
- ⑤始めは体を動かし自由になりきっていたが、体操教室の内容も含めながら徐々に難易度を高め、四肢を動かしあおむしごっこを楽しむ様子が見られた。保護者の前での発表の為、緊張する子もいたが、最後までやりきることが出来た。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ① 2歳児クラスになると生き物に興味を示し、あおむしの観察をじっくり行い、図鑑と比べたり、「何を食べるのだろう?」「どれくらい大きくなるのかな?」等、疑問に思う子が多く見られ、関心した。意欲的にお世話をしようとする子が多く、子どもがいつでも観察できるような場所に設置し、あおむしの変化に気付けるように配慮した。
- ② 育てていく中で思いやりをもって接する姿もあり、また折り紙やブロックを使用して、自ら作りたいと折り紙やブロックを準備する姿には驚いた。家の構図も自ら考え、ご飯を食べる場所、トイレ、ベッド等、各々好きな造りを完成させており、自分の考えやイメージを表現することが出来るようになっていると感じた。
- ③ あおむしだけでなくアゲハ蝶にも興味を持ち始め、自ら「アゲハ蝶を作りたい」「アゲハ蝶になりたい」等、絵本の世界に入りこんでいた。マグブロックでは形を同じように三角形を繋げて指先を使って考えながら完成させており、成長を感じた。アゲハ蝶の制作では、お友達がやっている则ち他の子も興味を示し、徐々に人数が増えていった。保育者が声を掛けなくても自然と、やりたい意欲へ繋がったように感じた。
- ④ 衣装を作った為、より一層あおむしになりきって楽しむことが出来たように感じた。衣装作りでは、子ども達の個性を引き出す為、様々な形や色のシールを準備し、選べるように準備をした。自分だけのあおむしの衣装が完成すると一人ひとり嬉しそうにする様子がうかがえた為、保育者が作った衣装ではなく、子ども達が自分で手掛けた衣装を作ることが出来て良かった。
- ⑤ 当日まで子ども達がどのような姿になるか予想がつかなかったが、保護者の前で堂々と発表する姿を見て成長を感じた。大勢の前で緊張しつつも、最後までやりきり、最後はみんな笑顔で終わった為、達成感を味わうことが出来たのではないかとと思う。